

令和 7年 6月 24日

長野県知事 阿部 守一 様

令和7年度 長野県産業廃棄物3R実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物3R実践計画書を提出します。

協定期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日	
会 社 名	株式会社 安井建設	
住 所	〒385-0043 長野県佐久市取出町450-5	
代 表 者 名	代表取締役 安井 英二	
業 種	製造業 ・ 建設業	
処 理 施 設	施設名	所 在 地
所 在 地	クリーンステーション	長野県佐久市前山1816-17ほか
(処理施設を有する場合)		
担 当 部 署	管理部	
担 当 者 名	安井 淳子	
連 絡 先	TEL	0267-62-2848
	FAX	0267-62-1798
	電子メールアドレス	angejj7@ybb.ne.jp
ホームページアドレス	http://www.ea21.jp/list/pdfn/0008098.pdf	

1 産業廃棄物3R実践方針

1. 現場従事者全般の3Rに対しての知識及び意識の向上を図る
2. 現場においての徹底分別により減量化及び再資源化の効率を向上させる
3. エコアクション21による情報公開

2 排出抑制、リサイクルのための目標値及び過年度実績値

	R7年度目標値	R6 年度実績値	R5 年度実績値	R4年度実績値
総排出量の推移 ($\text{t} \cdot \text{kg} \cdot \text{m}^3$)	5,000	5,855	15,758	4,445
リサイクル量の推移 ($\text{t} \cdot \text{kg} \cdot \text{m}^3$)	4,950	5,785	15,740	4,429
売上高の推移 (円)	1,000,000,000	727,189,000	950,300,000	1,063,500,000

3 排出抑制、リサイクルのための取組内容

1 現場責任者は設計書内で3Rに変更可能な項目があれば発注者及び取引業者とその都度協議し、可能な限り無駄な廃棄物の排出を減らし、再生品及び再生可能品を使用する。

また材料搬入の際は事前に業者と打合せをし、梱包材等は最小限にとどめる。

2 各現場に廃棄物分別ヤードを設置、その際は品目を具体的且つ明瞭に表示し、全ての作業従事者が容易に分別できるようにする。

3 解体工事に於いては事前に内外部の確認を行い、リユース・リサイクル出来る物を先にリストアップし分別・排出する事で廃棄物の排出抑制に努める。

また民間の場合は発注者にも協力を求め排出抑制を図る。

4 現場においても定期的な従業者教育の回数を増やし、リサイクル目標値を掲示し従業者全体の意識向上を図る

以下の観点も参考としていただいて構いません。(必要に応じ写真等を添付してください。)

- ・産業廃棄物処理責任者等
- ・産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開
- ・産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明(処理施設を有する場合)
- ・処理を委託する処理業者(施設)の現地確認計画
- ・従業員教育(研修)計画
- ・リサイクル促進に向けた取組(計画段階、実施段階での工夫など)
- ・処理委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者責任の徹底
- ・不適正処理を発見した場合の協力体制
- ・自社処理廃棄物の管理方法(自社処理を行っている場合)
- ・独自に取り組む事項

代替素材への転換(化石燃料由来プラスチック製品等からバイオマスプラスチックなど環境負荷の低い素材や製品へ転換していくこと)、環境認証制度等の取得(環境ISO 14001、エコアクション21等)、電子マニフェスト(公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター)の導入等。

4 リサイクル製品使用率目標値

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品(材料)使用量／全体材料使用量(%)

製品(材料)種別	当年度目標値	過年度実績値		
	R7年度 目標値	R6年度 実績値	R5年度 実績値	R4年度 実績値
砕 石	100%	100%	100%	100%
砂	90%	90%	90%	90%
全 体	95%	95%	95%	95%